

事業名

栃木の伝統工芸に出会う、民芸づくしの宿 栃木の伝統工芸品を使った空間演出と思い出に残る体験

栃木の伝統工芸品の新たな魅力を伝える、創意工夫に富んだ企画を実施

活用した
地域資源

■鹿沼組子 ■益子焼 ■大谷石 ■真岡木綿 ■黒羽藍染
■黄鮫 ■間々田紐 ■烏山手すき和紙 ■日光彫 ■竹工芸
■野州てんまり ■新波の提灯 ■栃木の酒(日本酒)

連携者

■モリ工芸(鹿沼組子) ■有限会社豊田木工所(鹿沼組子他) ■有限会社陶庫(益子焼)
■萩原芳典(益子焼) ■Mountain side Nikko(大谷石) ■大谷石ミュージアム(大谷石)
■田中提灯店(新波の提灯) ■片山酒造株式会社(栃木の酒(日本酒))



①伝統工芸品と片山酒造「秋のひやおろし」を提供 ②④「鹿沼組子ライブラリー」で鹿沼組子や益子焼などを展示 ③大谷石のメインプレートを使った会席料理
⑤新波の提灯の見立て月が灯る幻想的な空間 ⑥美しい色合いの新波の提灯

事業内容

「星野リゾート 界 日光」では、和の趣や快適性を追求しながら地域の伝統を継承することでお客様に特別な体験をしていただけるよう、スタッフが中心となり新しいサービスの提供を目指しています。その取り組みとして2015年に、栃木の伝統工芸をより深く知っていただくためのご当地部屋「鹿沼組子の間」を用意しました。部屋には美しい鹿沼組子があしらわれ、職人の技が光る繊細な手仕事を間近で堪能できます。

また日光下駄談議などの「ご当地楽」も披露し、お客様に日光下駄を実際に履いていただく体験やステージ上でタップダンスを披露することで、思い出に残る催しを開催しています。伝統工芸をしつらえた鹿沼組子ライブラリーでは、鹿沼組子や益子焼、日光彫などを展示。またルームキーにも益子焼、黒羽藍染、真岡木綿など小さな工芸品を使用しました。食事の席では“食と栃木の伝統工芸品のマリージュ”として、大谷石のメインプレート、益子焼、鹿沼組子などを融合し地域性を出した会席料理を提供しています。

2018年には、秋の夜長に日光の蔵元「片山酒造」の“ひやおろし”を提供する際に「お酒を味わうだけでなく空間も秋らしく」というスタッフの思いから、ロビーに新波の提灯の見立て月と鹿沼組子、益子焼をあしらひ、栃木の伝統工芸品に囲まれた幻想的な空間を演出しました。味覚・視覚・聴覚の多方面から情報提供を行い、栃木の歴史や文化に関心を持っていただくきっかけになればと考えています。

本事業への想い(将来の展望など)

星野リゾート 界 日光

2014年のリブランド以来、他の観光産業と差別化を図るため、栃木の伝統工芸や文化に触れる「ご当地楽」というおもてなしを行っています。知られざる日光下駄の歴史や丈夫さをお伝えし、毎晩スタッフが日光下駄を履いてオリジナルのタップダンスを披露しています。そのほか栃木で過ごす時間を有意義に楽しんでいただくため、スタッフが趣向を凝らしながらさまざまな催しを開催しています。国内外からのお客様に栃木の文化や食、伝統工芸品の素晴らしさを独自のPRし、皆さまにとって地域の魅力に出会える場所でありたいと考えています。



星野リゾート 界 日光 (株式会社 楓雅)

■住所/栃木県日光市中宮祠2482
■TEL/0570-073-011(界予約センター) ■<https://kai-ryokan.jp/nikko/>

業務内容

■リゾート・旅館運営事業